

令和3年度ネットリサーチ「いばらきアマビエちゃん（1回目）」に関するアンケート結果報告書

■結果のポイント

- 「いばらきアマビエちゃん」の認知度については、「名前も内容も知っている」(46.7%)、「名前だけは知っている」(39.1%)を合わせた【知っている】は85.8%となっている。
- 「いばらきアマビエちゃん」を「知っている」と回答した方に、「いばらきアマビエちゃん」の利用者登録について聞いたところ、「ほぼ毎回『利用者登録』を行っている」が10.4%、「たまに『利用者登録』を行っている」が24.0%となっている。
- 重要視する飲食店の感染対策については、「手指消毒が徹底されている（アルコール消毒液が設置され、消毒のお願いがあるなど）」が62.4%で最も高く、次いで「従業員がマスクをしている」が59.9%と続く。

■調査結果の概要

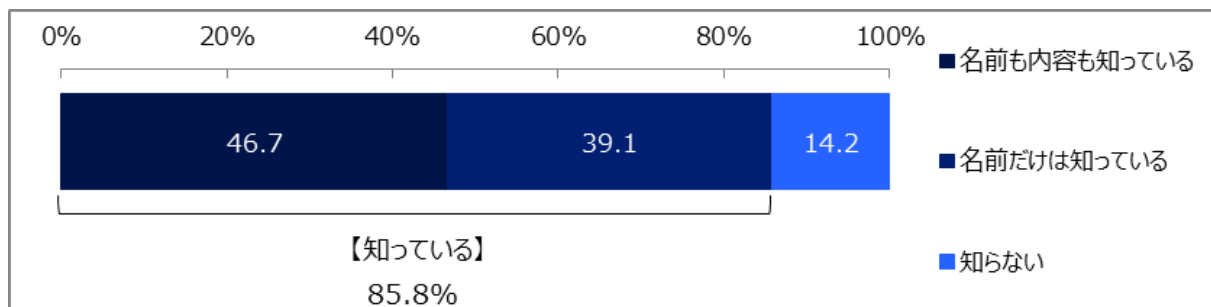
1 「いばらきアマビエちゃん」の認知度

◇ 「名前も内容も知っている」(46.7%)、「名前だけは知っている（内容はよく分からない）」(39.1%)を合わせた【知っている】は85.8%となっている。

Q1.あなたは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的として県が導入した「いばらきアマビエちゃん」を知っていますか。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
名前も内容も知っている (店舗の取り組む感染対策が「宣誓書」で分かりやすく掲示され、感染者との接触可能性がある場合に、利用登録者に注意喚起のお知らせメールを送信されるシステム)	46.7	467
名前だけは知っている (内容はよく分からない)	39.1	391
知らない	14.2	142



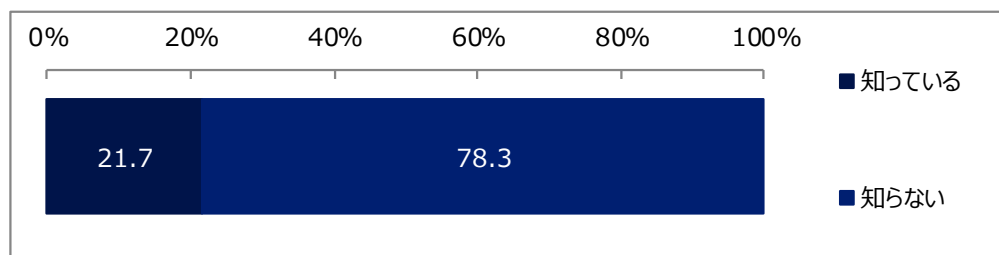
2 プレゼントキャンペーンの認知度

◇ 「知っている」が21.7%、「知らない」が78.3%となっている。

Q2.あなたは、「いばらきアマビエちゃん」で利用者登録をすると抽選で毎月100名の方に5000円相当の県産品が当たるプレゼントキャンペーン（令和3年6月から令和3年12月まで）を知っていますか。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
知っている	21.7	217
知らない	78.3	783



3 「いばらきアマビエちゃん」の認知経路

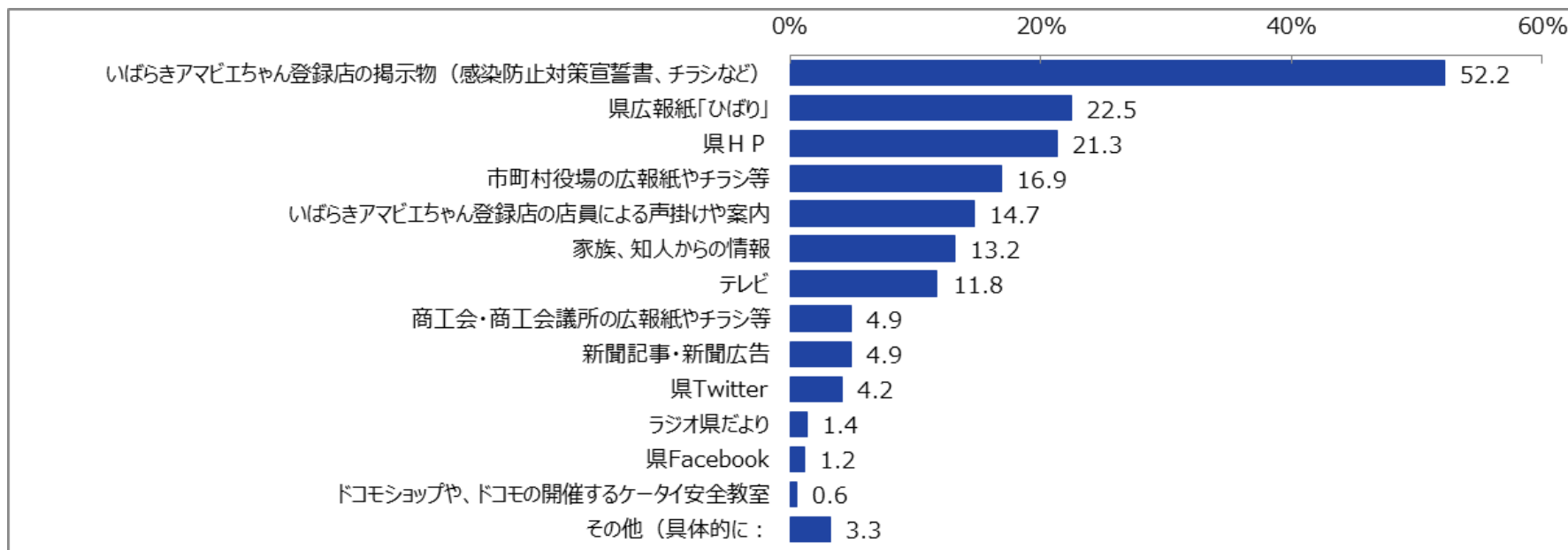
◇ 「いばらきアマビエちゃん登録店の掲示物（感染防止対策宣誓書、チラシなど）」が52.2%で最も高く、次いで「県広報紙『ひばり』」が22.5%、「県HP」が21.3%と続く。

（Q1で「1.名前も内容も知っている」「2.名前だけは知っている（内容はよく分からない）」と回答された方へ）

Q3.あなたは、「いばらきアマビエちゃん」をどこで知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	858
いばらきアマビエちゃん登録店の掲示物（感染防止対策宣誓書、チラシなど）	52.2	448
県広報紙「ひばり」	22.5	193
県HP	21.3	183
市町村役場の広報紙やチラシ等	16.9	145
いばらきアマビエちゃん登録店の店員による声掛けや案内	14.7	126
家族、知人からの情報	13.2	113
テレビ	11.8	101
商工会・商工会議所の広報紙やチラシ等	4.9	42
新聞記事・新聞広告	4.9	42
県Twitter	4.2	36
ラジオ県だより	1.4	12
県Facebook	1.2	10
ドコモショップや、ドコモの開催するケータイ安全教室	0.6	5
その他（具体的に：	3.3	28



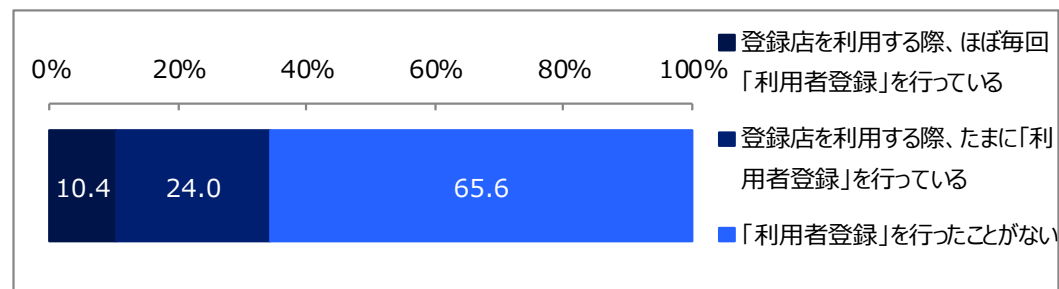
4 「いばらきアマビエちゃん」の利用者登録

◇ 「ほぼ毎回『利用者登録』を行っている」が10.4%、「たまに『利用者登録』を行っている」が24.0%となっている。

Q4.あなたは、「いばらきアマビエちゃん」の登録店で利用者登録をしていますか。

SA

	%	n
全体	100.0	858
登録店を利用する際、ほぼ毎回「利用者登録」を行っている	10.4	89
登録店を利用する際、たまに「利用者登録」を行っている	24.0	206
「利用者登録」を行ったことがない	65.6	563



5 登録事業所であることを気にするか

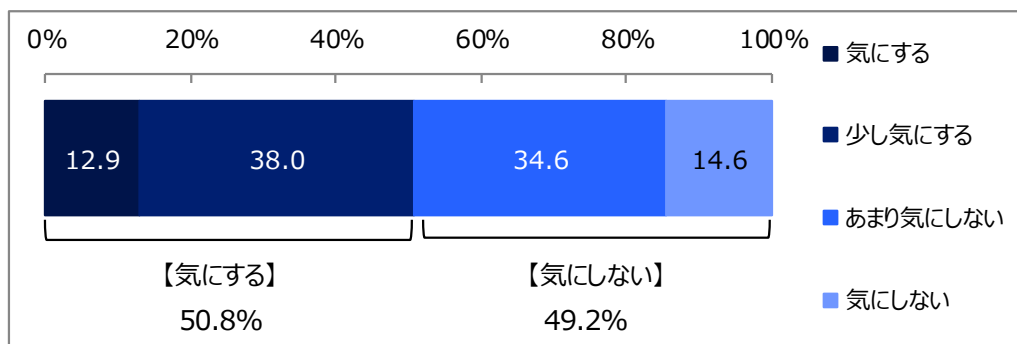
◇ 「気にする」(12.9%)、「少し気にする」(38.0%)を合わせた【気にする】は、50.8%となっている。

(Q4で「1.登録店を利用する際、ほぼ毎回「利用者登録」を行っている」「2.登録店を利用する際、たまに「利用者登録」を行っている」と回答された方へ)

Q5.お店を選ぶ際に、「いばらきアマビエちゃん」登録事業所であること(感染防止対策をしていること)は気にしますか。

SA

	%	n
全体	100.0	295
気にする	12.9	38
少し気にする	38.0	112
あまり気にしない	34.6	102
気にしない	14.6	43



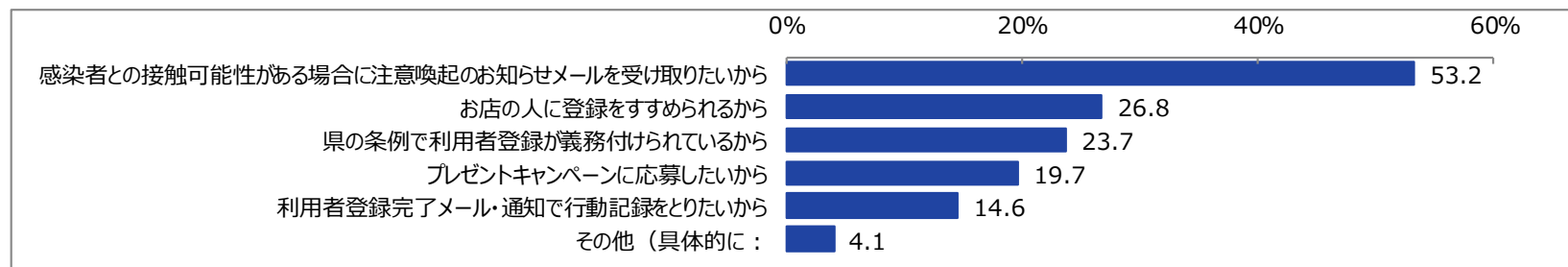
6 利用者登録をする理由

◇ 「感染者との接触可能性がある場合に注意喚起のお知らせメールを受け取りたいから」が53.2%で最も高く、続いて「お店の人に登録をすすめられるから」が26.8%と続く。

Q6.あなたが、利用者登録をする理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	295
感染者との接触可能性がある場合に注意喚起のお知らせメールを受け取りたいから	53.2	157
お店の人に登録をすすめられるから	26.8	79
県の条例で利用者登録が義務付けられているから	23.7	70
プレゼントキャンペーンに応募したいから	19.7	58
利用者登録完了メール・通知で行動記録をとりたいから	14.6	43
その他(具体的に:)	4.1	12



7 利用者登録をしない理由

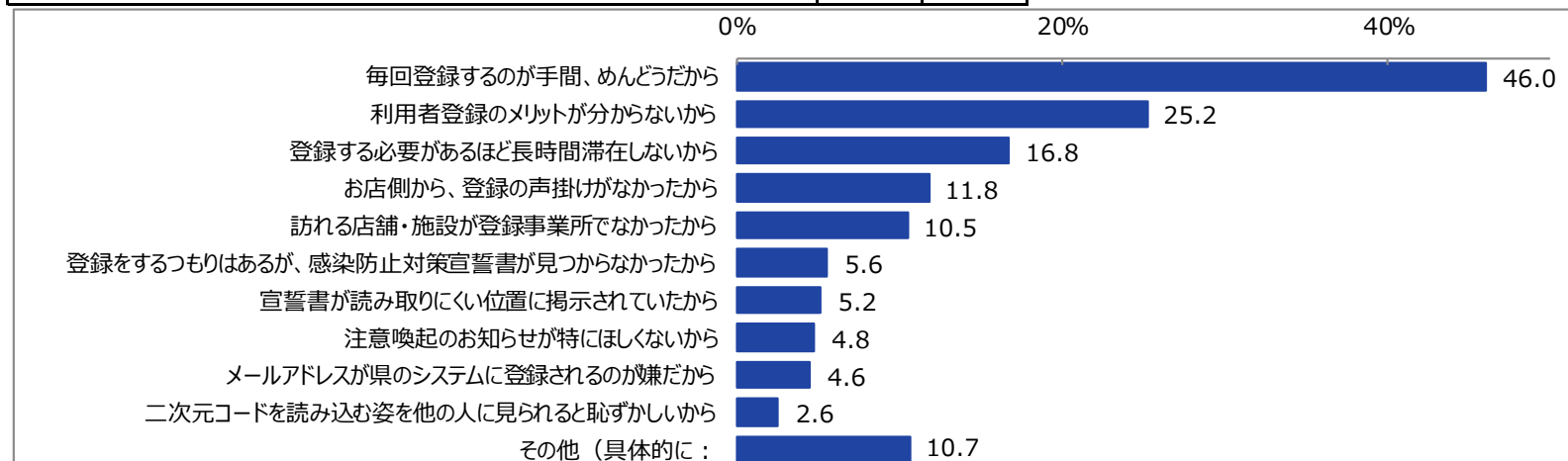
◇ 「毎回登録するのが手間、めんどうだから」が46.0%で最も高く、次いで「利用者登録のメリットが分からないから」が25.2%と続く。

(Q4で「2.登録店を利用する際、たまに「利用者登録」を行っている」または「3.「利用者登録」を行ったことがない」と回答された方へ)

Q7.あなたが、利用者登録をしない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	769
毎回登録するのが手間、めんどうだから	46.0	354
利用者登録のメリットが分からないから	25.2	194
登録する必要があるほど長時間滞在しないから	16.8	129
お店側から、登録の声掛けがなかったから	11.8	91
訪れる店舗・施設が登録事業所でなかったから	10.5	81
登録をするつもりはあるが、感染防止対策宣誓書が見つからなかったから	5.6	43
宣誓書が読み取りにくい位置に掲示されていたから	5.2	40
注意喚起のお知らせが特にほしくないから	4.8	37
メールアドレスが県のシステムに登録されるのが嫌だから	4.6	35
二次元コードを読み込む姿を他の人に見られると恥ずかしいから	2.6	20
その他（具体的に：	10.7	82



8 スマートフォン用アプリの利用

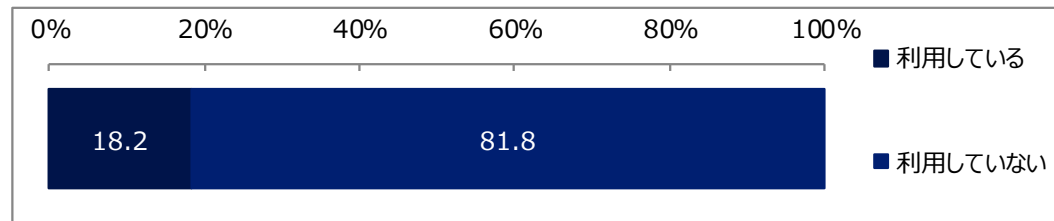
◇ 「利用している」が18.2%、「利用していない」が81.8%となっている。

(SC3で「1.スマートフォンを持っている」と回答した方へ)

Q8.あなたは、スマートフォン用アプリ「いばらきアマビエちゃん」を利用していますか。

SA

	%	n
全体	100.0	817
利用している	18.2	149
利用していない	81.8	668



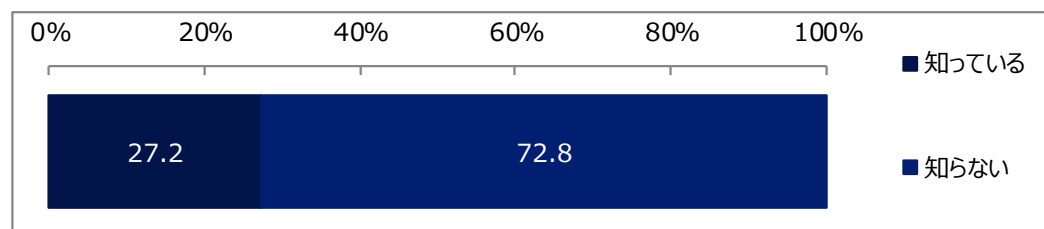
9 「新型コロナ経済両立条例」の認知度

◇ 「知っている」が27.2%、「知らない」が72.8%となっている。

Q9.あなたは、令和2年10月2日に施行された「茨城県新型コロナウイルス感染症の発生の予防又はまん延の防止と社会経済活動との両立を図るための措置を定める条例」を知っていますか。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
知っている	27.2	272
知らない	72.8	728



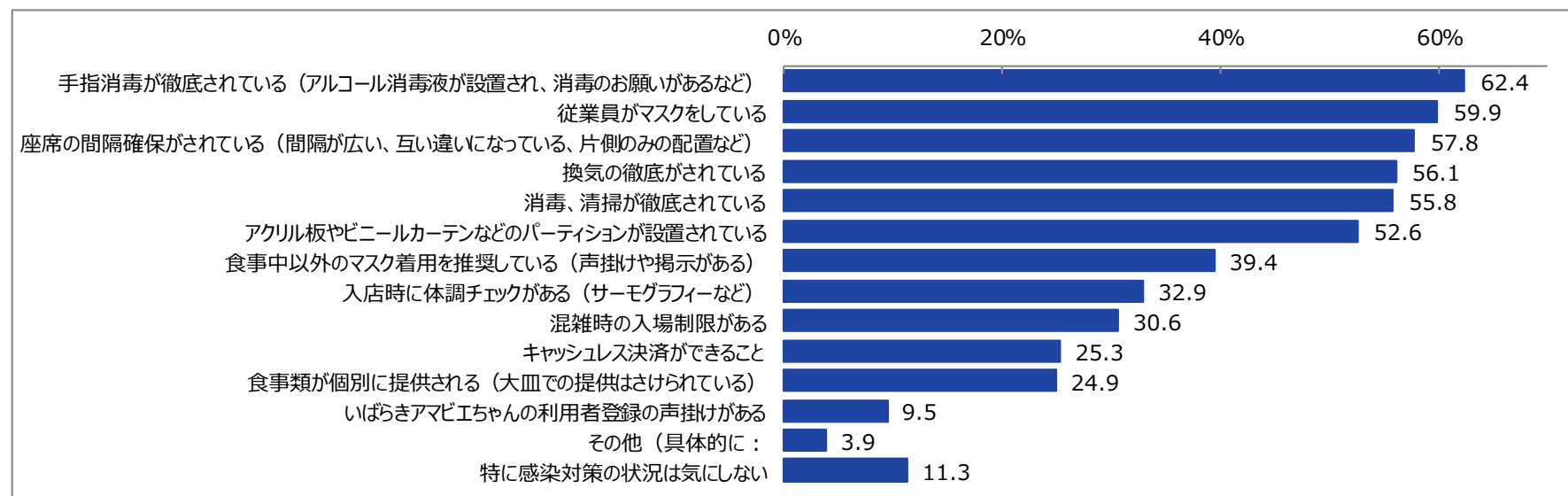
10 重要視する飲食店の感染対策

◇ 「手指消毒が徹底されている（アルコール消毒液が設置され、消毒のお願いがあるなど）」が62.4%で最も高く、次いで「従業員がマスクをしている」が59.9%と続く。

Q10.コロナ禍において、あなたが飲食店を利用する際に、重要視する飲食店の感染対策はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
手指消毒が徹底されている（アルコール消毒液が設置され、消毒のお願いがあるなど）	62.4	624
従業員がマスクをしている	59.9	599
座席の間隔確保がされている（間隔が広い、互い違いになっている、片側だけの配置など）	57.8	578
換気の徹底がされている	56.1	561
消毒、清掃が徹底されている	55.8	558
アクリル板やビニールカーテンなどのパーティションが設置されている	52.6	526
食事中以外のマスク着用を推奨している（声掛けや掲示がある）	39.4	394
入店時に体調チェックがある（サーモグラフィーなど）	32.9	329
混雑時の入場制限がある	30.6	306
キャッシュレス決済ができること	25.3	253
食事類が個別に提供される（大皿での提供はさけられている）	24.9	249
いばらきアマビエちゃんの利用者登録の声掛けがある	9.5	95
その他（具体的に：	3.9	39
特に感染対策の状況は気にしない	11.3	113



■調査の目的

新型コロナウイルス感染症対策として令和2年6月から県が運用している「いばらきアマビエちゃん」について、更なる利用促進を図るため、認知度や利用状況を把握し、今後の広報活動や施策展開の参考とする。

■実施概要

- ・実施期間 令和3年6月25日～7月2日
- ・サンプル数 茨城県常住人口調査（令和3年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		116	246	96	353	189	1,000
性別	男性	60	125	51	181	99	516
	女性	56	121	45	172	90	484
年代別	18～29歳	18	42	17	66	33	176
	30歳代	17	43	17	62	31	170
	40歳代	24	57	21	83	42	227
	50歳代	27	53	19	72	39	210
	60歳代	30	51	22	70	44	217

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。